
季節はずれの蛍

サトシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

季節はずれの茧

【著者名】

【アーティスト】
N4320F
サトシ

【あらすじ】

ふと、茧のことと思い出して書いてみました。夏の夜には優しく照らしてくれるあの茧の様になりたいです。

光
優しく包む…

光
怪しく包まれる…

光
私を弱らせる…

光
私を強くしてくれる…

光
私の気分を明るくしてくれる…

光
人は光を浴びなければ生きていけない…

光
暗闇にぼつんと光る螢の光の様に私は生きたい…
暗闇で迷ってる人がいたら…

道標になりたい…

苦しみもがいて生きるこの時代に…

私は螢の光の様になりたい…

一瞬でも構わない
光輝く時が欲しい…

今は暗闇を彷徨つている…

曇り空の汚い空気のなかで…

夏になれば…

蛍は光輝く…

自分は此所に居るよ…

生きてるよ…

私はやりたい事も見つからない…

光輝く事が無い…

街は冷たい風が拭いている…

夏の暖い風は…

また来年だね…

夏の間に光る事を忘れた蛍は…

いつか輝いてみせると…冷たい風の中に消えていく…

また、輝ける明日を探して…

冷たい風の中飛んで行く…

私もいつか輝く時がくるのかな?

と螢に問い合わせる…

輝くのは簡単だと言つ…

輝ける明日を迎えるなら…

自分のことばかりではなく…

回りの人達の支えになれと…

誰かが輝く為に…

君が支えてあげなと言つ…

そつか…

自分のことばかりでは光輝く事は出来ないのか…

輝く螢に教えてもらつた…

それは明日の自分だと…

私も進もう…

冷たい風に吹き流され無いように…

しつかりと地に足付けて…

光輝き羽ばたける明日に向かつて…

あの人の…支えに成る為に…

私は光らない螢にはなりたく無い…

私はまだ光輝く事を諦めたく無いから…

冷たい風の中を突き進む…

そして明日は自分も輝いてみせると…

曇り空を見上げて言つてみる…

私は輝くと。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4320f/>

季節はずれの蛍

2010年10月17日10時46分発行